

A LEVEL

差別化のススメ 5 桑原明夫

“請負型”から“提案型”へ 街づくりのトップバッターとして躍進。

exe TALK マンパワーを 維持しながら変革

昭和33年、戦後復興にまい進する広島市で桑原組は創業しました。スーパーゼネコンの指名パートナーとして解体工事を主軸に実績を積み重ね、アスベストや土壌汚染、CO2削減といった環境対策リスクマネジメント、不動産コンサルタント事業まで事業領域を拡大しています。

平成21年、創業50年の記念の年に、私は4代目代表取締役役に就任しました。

それはリーマンショックの翌年、当社の売り上げは前年対比で半分にまで落ち込んでいました。何か手をほどかさなければつぶれてしまう状態。リストラをして、業務の規模を縮小するしかありません。しかし、それではお客様に迷惑がかかります。リストラをせずに持ちこたえる方法はないか—と考えたのです。

exe TALK 強みとなる 付加価値の創出

まず取り組んだのは経営理念、基本方針の制定で、5年10年先の会社の方向性を社員に提示しました。会社が向かう道を示し、足りないことや課題を明確にしました。方向をしっかり示しておけば、まったただ中にいるときには理解できなくても、5年後に振り返れ

ばそこに実績という足跡があるはずで

す。維持したマンパワーを生かすために、新しいお客様、新しい分野、新しい事業領域を求めていきました。価格競争に参入するのではなく、人がやらないこと、差別化することにベクトルを向けました。ヒントを求めて全国に出向き、当時、問題となっていたアスベスト除去を無人でできるロボット工法を導入。また、解体工事前の地歴調査・分析から解体工事、アスベスト対策に汚染土壌の除去、跡地利用計画まで一貫して対応する、「ワンストップ更地化サービス」という新しいビジネスモデルを確立しました。仕事を請け負うだけではなく、提案型へと変換していったのです。「桑原組はそんなこともできるのか」と、事業に付加価値を創造していきました。

exe TALK 社員は宝、 キャリアアップを推進

同時に、新しい人事評価制度「キャリアステッププロジェクト」を始動させました。月に一度、社員と上司との1対1の教育面談を行い、個々のスキルアップを図っています。資格取得も奨励しています。当初は難色を示していた社員も、職場で刺激し合って自主的に資格取得に取り組んでいます。

建設業といえば、「背中を見て盗め」「10年の下積みは当たり前」と

いった職人気質の古い体質というイメージが強いかもしれません。教育体制を構築しづらい、業界の体質もあります。

しかし、これではだめなのです。いい技術があっても、それを後世に伝えていかなければ会社は存続できません。いい仕事を受注し提案しても、それをこなせない現場力がなくて仕事は成り立ちません。当社では昨年、若手を抜擢して、新入社員のための教育マニュアルを作成しました。大手ゼネコンなど他社からも注目を集め、この教育体制を新ビジネスとして構築中です。社員は会社の宝です。社員のキャリアアップに力を入れるのは当然です。

exe TALK 街づくり プランナーとして

解体業はものづくりの原点の前に立つ、街づくりの景観を作り出すトップバッターです。「ワンストップ更地化サービス」は、街づくりプランナー的な役割を担うものと考えています。

例えば、人口減に伴う郊外の空き家再生、老朽化した建物も放ってはおけません。「こんな建物や施設があったらいいな」と生活する市民の発想で、街づくりを提案していきます。

当社が取り組んでいる事業は、街おこしであり、問題解決型ビジネスなのです。私たちは社会的使命を持つ

株式会社桑原組
〒730-0812
広島県広島市西区己斐本町3-17-24
【採用チーム】
TEL:082-272-6006
URL <http://www.kuwaharagumi.co.jp/>

て行動しなければなりません。そして私たちは、目標に向かってすでに動き出しています。

exe TALK 変革を加速、 さらなる高みへ

今、変革を加速させています。社員は「私が次は何をすべきだろうか」とハラハラしているのではないでしょか(笑)。可能性がどこまで広がっているかは誰にも分かりません。だからこそ、挑戦することが楽しいのです。一緒に働く以上、ワクワクドキドキ感を生み出すのが私の仕事です。

東京オリンピックのある2020年を節目の年として、さらに新しいビジネスモデルを構築していきます。あと5年しかありません。まずは行動、ご縁で得た着想を緻密に事業コンセプトに落とし込んでいきます。

私たちがやれること、やらなければならないことは、まだまだたくさんあります。夢に向かって、よい人間関係を築きながら、元気に突っ走っていきける人を求めています。



3C(変革=CHANGE)(創出=CREATE)(協業=COLLABORATE)精神の精神で新たなビジネスモデルを構築している



PROFILE 株式会社 桑原組 代表取締役 桑原 明夫 (48)

Kuwahara Akio

昭和41年生まれ、48歳。広島市出身。学生時代のアルバイトは40、50種類。所属していたクラブで渉外を担当し、旅行や合宿の運営など“営業活動”も体験。大学卒業後はリクルートに就職、広島に戻って大手ゼネコンに転職、30歳で建築機能材を扱う会社を設立(現在17期)。経営が安定したころ、(株)桑原組を引き継ぐ。知らないことがあるのが嫌、新しいことに飛びつく瞬発力が売り。目標は「宇宙ステーションの解体」。



かぶしきがいしゃくわはらぐみ

株式会社桑原組

建設業

事業内容 | コンクリート建築物解体、とび・土工、土木工事一式、環境リスク対策、不動産遊休地の開発提案

会社概要 >>>

地域No.1の品質と信頼で 明日への街づくりを提案

会社から一言

創業50年以上の歴史により累計1万棟以上の解体実績があり、長年培われた建築物解体技術とノウハウを活かし、「ものづくりの原点の前に立つトップバッター」として、過去の歩みを尊重し、常に新しい価値を創造し続けております。



地域No.1の品質と信頼で明日への街づくりを提案します

解体工事実績の中には、原爆死没者慰霊碑、元宇品ドッグ、NTT中国総支社、旧広島市民球場等がある

昭和33年に広島市基町1番地に創業し、当時より現在に至るまで、戦後復興、高度経済成長期、近年の都市開発及びリノベーションと多岐に渡り解体・改修工事を通して貢献してきた。従来の解体改修工事をはじめ、環境事業、不動産の仲介とコンサルタントの部門を設け、本体と営業情報を共有し合いながら、顧客の抱える課題や問題をトータルに解決していく。関連会社の(株)コロバは、スリーエムジャパン特約代理店で建築機能材及び多機能型ガラスフィルムを扱い、グループとして多方面へ営業展開する。「解体」は「街創り」への第一歩をモットーに、半世紀に渡り広島市の街作りに取り組んできた当社は、環境リスクマネジメント含む更地化パッケージサービスなど不動産・建築事業への要望に応え、トータル的な提案活動で新しい価値を創造していく。

会社DATA

所在地 | 〒733-0812 広島県広島市西区己斐本町3-17-24
設立 | 昭和33年10月
資本金 | 3,000万円

売上高 | 平成26年11月期: 17億7,000万円 | 平成25年11月期: 13億7,418万円 | 平成24年11月期: 13億2,286万円

採用にける想い

「続ける努力ができれば、どんな困難も乗り越えられる」



「誰かがやるのであれば、自分がやるという姿勢で望みたい」さらなる発展を目指しています

半世紀に渡り広島地区でのスーパーゼネコンの指名パートナーとして多くの解体工事を施工してきました。そうした信頼を支えてきたのは、見積から施工、フォローまで一貫した自社施工体制による施工品質を中心としてゼネコンが求める施工品質に確実に応えてきたからです。そのような中で「社員への資格取得奨励」も積極的に行い、多くの社員が資格取得を目指すようになり、今では約9割の社員が何らかの資格を取得するまでに成長しています。また、社長はじめ二代目社員も2割近く在籍し同世代が多く、アットホームな雰囲気と職人気質を兼ねた社風です。街づくりのトップバッターとして最前線で活躍し会社と共に成長してみませんか。

採用DATA

	営業	事務	現場作業員
初任給(製造職)	基本給	勤務先	広島市
大学卒	200,000円~	勤務時間	8:00~17:00
高校卒(事務・現場作業員)	150,000~180,000円	休日・休暇	営業・事務 土日祝日、年末年始、GW、盆休み 現場作業員 日曜、年末年始、GW、盆休み
昇給・賞与	年2回	福利厚生	各種保険(健康・厚生年金・労災・雇用)退職金制度
諸手当	資格手当、時間外、休日手当、家族手当ほか		

採用に関するお問い合わせ

電話: (082) 272-6006

FAX: (082) 273-4444

H P: <http://www.kuwaharagumi.co.jp>

エラベル編集長から

平成23年2月に解体業者としては珍しいISO9001の認定を取得。また、解体工事だけに留まらず、更に一歩進んだ「更地化への付加価値」を提供していくという考えの下で、土壌汚染対策などトータル的な提案活動を展開し、同業他社とは一線を画している。

交通案内MAP